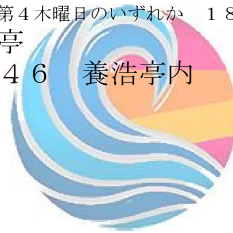


# 皆野・長瀨ロータリークラブ

## 週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30  
 ◇例会場 長瀨レクリエーションホテル 養浩亭  
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀨町長瀨1446 養浩亭内  
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134  
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp  
 ◇点 鐘 小林 一夫会長  
 ◇ソング 奉仕の理想



BE THE INSPIRATION

## 第1448回例会 平成30年9月18日(木)

### 会長の時間

小林 一夫

皆さん、こんにちは。皆野・長瀨ロータリークラブの小林です。今日は秩父ロータリークラブさんと合同のガバナー公式訪問となっております。皆さんにはお世話になります。



私は年は大きいのですが、まだロータリーに入会して、やっと10年が過ぎたところです。このような合同のガバナー公式訪問は、初めてですので、ちょっと不安なのですが、どうか穏やかにご指導して頂ければ、ありがたいと思っております。

皆野・長瀨ロータリークラブは会員が12名、平均年齢を申し上げますと70才です。活気はありませんが、そこそこ月に3回例会を楽しんでおります。私の会長のテーマとしては、輪が地域の長瀨町は年間で観光客が250万人くらい年間に訪れるようです。そこで、美化に関する事業計画を致しまして、まだ具体的にはなっておりませんが、少しでもロータリーの認知度の向上に役にたつといいと考えております。

簡単ではございますが、会長の時間とさせていただきます。

### 幹事報告

畝 徳治



#### 1. 地区事務所より

①米山月間 米山奨学部門卓話について

①ロータリーの友月間に寄せて

以上がきております。回覧させていただきます。

今日は合同例会という事で大勢の方に集まって頂いております。

活気が出るなど感動しているところです。また今日はガバナーをはじめ大勢の方においで頂いた中での実施するという事で緊張しております。

## ガバナー卓話

RI第2570地区

ガバナー 茂木 正様



皆様、こんにちは。ご紹介頂きましたガバナーと言うよりはそんな「ばかなー」という感じのガバナーでございます。私もガバナーを拝命させて頂いて、ひとつだけ良い事をしたなと思

っておりますのは、今までのガバナーの皆様、秩父からも出ていらっしゃるんですが、どちらかと言うと、高潔性がある、素晴らしくて近寄りたいたいというガバナーが多いと思います。初めてこんなガバナーが出て、そんな意味では皆様方のお近くで一緒にやろうよという友達感覚のガバナーでありたいと思っております。よろしくお願ひしたいと思います。本当に秩父ロータリークラブの皆様、皆野・長瀨ロータリークラブの皆様、平素はありがとうございます。特にこの地区には兄と慕っております方もいらっしゃると思いますし、たくさんの皆様が知り合いとしてご指導頂いている地区です。これからもぜひ、こうした場所ではございますが、ご指導お願ひしたいと思いますと思っております。

皆様方ご存知のように地区としていろいろな計画があります。計画と言うよりも皆様方にお願ひばかりが多くなっております。それは、今日私はここに何のために来たかと言うと、RI会長でありますバリーラシンの思いをお伝えするために参りました。その思いを2570地区として今度は皆様方にどんなふうにお伝えをし、どんなふうと一緒に活動して頂けるかという事をお伝えしに来たつもりです。すでにご存知のようにRIの今年のテーマは、BE THE INSPIRATION インスピレーションになろうという事です。インスピレーションにどうやっとなるんだよというお話もあるかもしれません。そしてインスピレーションを受けて、2570地区は「思いを繋ぎ、地域と国の発展に奉仕する」とさせて頂いております。そうしたお話を今日させて頂こうと思っております。

私どもの年度は大きく分けますと、3つの活

動の方針を出させて頂いております。1つは世界平和への人道的支援、2つ目、青少年の育成、3つ目に会員増強と大きく分けて皆様方へお願いしたい活動としております。他にいろいろロータリーを通じての思いだとか、そうしたものをやって頂きたい事はたくさんございます。その3つの思いを私どもの年度にやっつけていこうと思っております。

初めの世界平和への人道的支援についてお話しさせて頂きます。来年の5月14から10日間、医師団の派遣をパラオにしたいと思っております。10名くらいのお医者さんに現地に行ってもらって、米軍が作った診療所、国立病院と言っていますが、そこで何課とは制限しません、歯医者さんでも眼科の先生でも一緒に行ってもらって、10日間が無理でしたら、前半だけとかで十分です。現地に行ってもらって、支援をして頂きたいと思っております。現地のお医者さんもらっしやいますが、ほとんど日本のJICAから派遣されたお医者さんであったり、他の国から一定期間駐在されている方達ばかりです。そうした所では手術とか出来ませんが、診療とか治療を行って頂けたらと思います。ロータリアンの方達だけに限りません。そしてぜひロータリアンの方達にも一緒に行って頂きたいと思っております。4日間でも5日間でも結構です。

冒頭に申し上げました。この地区の今年度のスローガンとして提唱させて頂いているのは、思いを繋ぎ、地域と国の発展に奉仕するという事です。この思いこそがロータリーでしたら、インスピレーションになろうという思いです。そして私どもの地区は、その思いを受けて、私達それぞれが思いを先人から祖先から引き継ぎましようという思いです。お話をさせて頂いておりますパラオには、ペリリュー島という小さい島があります。本島から高速船で1時間ちょっとの所で、約80キロくらい離れていますが、そこに皆さん方をご案内したいと思っております。16年ほど前から私はそうした島々に眠る英霊の方々のご遺骨を収容させて頂いております。ぜひその島に行って頂きたいと思っております。周囲20キロちょっとの小さい島ですが、高崎の15連隊が約1千名、水戸の2連隊が約7千名、その他の人達が何千名も、約1万22名と言われているのですが、その人達がそこで玉砕されていった所がたくさんございます。日本の大東亜戦争では、銃弾に当たって死ぬ方ももらっしやいましたが、75%は餓死でした。しかし今お話しさせて頂いているペリリュー島では餓死された方はいません。食料も弾薬も十分ございました。大砲だとかありませんでしたが。そういう意味では戦場で亡くなった人達ばかりでした。詳しく申し上げますと、ほとんどの人達が満州の関東軍と言われていた人達が、南から米軍が来るらしいという事で、関東軍が南の島々に送り込まれました。20才から30才くらいの人達がたくさん行きました。満州の方から進駐した事がばれるのがまずいために認識票を取ってしまいました。兵士から集めました。その後米軍が上陸して来たのが9月15日でした。2日か3日後に米軍を押し返しました。2、3万人の米軍を1万名で押し返したのですが、その時に高崎の15連隊

の700名くらいがいて、ほとんど2、3日で玉砕状態だったのですが、その後、俺達が助けに行くという事で、本島にいた高崎15連隊の人達、1,500名くらいが後から小さい船15隻に分乗して助けに行っています。後から行った人達は認識票を付けていました。私どもは今行って、洞窟とか壕に潜りますと、時々認識票が出て参りますので、それで高崎連隊はここにいたんだなというのが分かっておりますし、高崎連隊の前に駐在していた人達と合流しておりますので、どこにいたか分かります。話が少しそれましたが、15年ほどその島にも通っておりますし、ガダルカナル島、硫黄島、ビルマという所で遺骨収集をさせて頂いております。2年ほど前にも今年の5月にも現地に参りました。仲間がたまたま行っていましたが、私は来年皆様方と一緒にやれる日本のロータリーの活動として現地の政府との調整に行っておりました。その時にたまたま私どもの遺骨収集の仲間が駐在しておりましたので、少しだけ飲み物を届けようとジャングルに入りました。すぐに出て参りました。ガダルカナル島などは土のせいでしょうか。ほとんど遺骨が溶けてしまっていました。大腿骨とか背骨くらいしかないのですが、ペリリュー島はそのまま出てきます。そういう方達2体くらいを回収させて頂きました。2年くらいまえに大きな台風があり、大雨が降りました。その時に崩れた所に穴が空きました。穴が空いたので、もしかしたら中にいらっしやるのではないかと、15メートルくらい電気を付けて潜って行きました。大きい部屋にあたりました。そこには半分くらい真水が溜まっていた。そのふちに手が引っかかっていた。もちろんお骨でしたが。中にいらっしやるのではないかと、真っ暗なのですが、4メートルくらい潜って、水中ライトを付けながらですが、その日は2体収容致しました。去年もそこから4体出てきたというお話です。そうした所でお遺骨を抱いて水面に上がって来る時、あるいはガダルカナル島のジャングルから掘り出して、袋に入れて白い布に包んで持ち帰りますが、いつも伝わってくる思いがございまして。これは皆様方が私どもと一緒にペリリュー島の行って頂けるのであれば、そういう思いが皆様方に伝わると思っております。その思いこそ、平和になって欲しい。日本がもっと豊かになって、子供達や孫達ももっと幸せになって、戦争のない世の中にしてくださいという思いです。まさしく私達はそうした人達が死んだからこそ、私達の平和な世の中があるわけですから。そうした人達、アメリカ軍に仇討ちしろとか、そんな事はおっしゃってはいないような気が致します。誰がそんな所で死にたいと思っていたのでしょうか。それこそ私達よりもっと若い人達、これから結婚して幸せになりたいと思っていた人達がそこで死ななければならなかった。俺たちは仕方ない。私達に続く皆さんは、国民はぜひ幸せになって欲しい。こんな所で死ぬような戦争を起こすような世の中を作ってくれるなよという思いです。その思いをご遺骨を抱いて上がってくる時に感じます。その思いを皆さんと共有したいと思っております。それこそが世界平和につながって行

くと思います。

来年4月13、14日に地区大会を本庄のグランドホテルと文化会館で計画しております。その中には自衛隊の表彰であるとか、自衛隊の音楽隊に来て頂いたり、前の防衛大事に来て頂くような計画をしております。戦争する世の中にしようとかそういう事ではまったくなく、戦争を2度としない世の中にするためにどういうふうにしていきましょうというお話を皆様方と共有していきたいと思っております。私達は地区大会で思いを形にというテーマを掲げさせて頂いて、地区大会を開催していきます。ロータリアンとして会社の社長として、一緒にそうした思いで次の世代を作って行きたいと思っております。

そうした意味では青少年の育成という意味でも私達の年度に掲げさせて頂いております。俺たちが良かったからもういいよではなく、少なくともロータリアンの皆様をはじめ、心ある人達は自分達はもちろんの事、この地域や私達の団体が、自分の会社がもちろんですが、そうした所がもっと発展して、次の世代に繋げていきたいと思っております。私も3人の娘を持つ父親です。孫もおります。娘達、孫、会社の社員さんにも幸せになって欲しい。それぞれの町や地域のみんなが幸せに暮らして欲しいという思いは一緒です。よく言われますが、10代遡ると千と48人だったですか。そういう親がいて、今ここに私がいるわけです。うちは代々百姓屋でした。10代前の爺ちゃん、婆ちゃん、曾爺ちゃん、曾婆ちゃん達、父や母、そうした思いが、それこそ私に幸せになって欲しい。私の孫達に幸せになって欲しいという思いを私達はロータリー活動を通じて、社長さんとして、委員長として、伝えて行かなければならない使命があると思っております。それこそが私の掲げさせて頂いております思いを繋いで地域と国の発展に奉仕するという思いです。青少年の育成にしても同じです。よく言われますが、日本でこれだけ豊かになった世の中にもかかわらず年間3万人もの自殺者が出る。それ以上に14万人も変死者が出ると。自分で命を絶ったりする人達が10分に1人出ています。こんな世の中はおかしいと思っております。70年前にあそこで亡くなっていかれた300万人とか、軍人、軍属併せて230万と言われます。そうした人達の思いが伝わっているとしたら、私達は何のために生きているのですかという思いを託された体であるとしたら、自分から命を絶つような事は少なくなっていくと思っております。戦死者ですが、ロシアでは2,000万人近い人達が死んでおります。他の国でもたくさん死んでおりますが、日本だけは悪い事をしてと責められておりますが、230万人の軍人、軍属の人達、日本にまだ帰ってきていない南の海、ジャングルの中に放り出されている人達は130万人いらっしゃいます。米軍は、北朝鮮から55体の米軍兵士のお骨を引き取ったという話がありました。私は何度か硫黄島に行っていますが、まだ8,000体くらいのお骨が残っています。米軍も2人残っています。まだ見つかりません。それでも米軍は一生懸命その2人を探しています。日本は130万体を放り出しっぱなしです。戦争直後に回収された方達もたくさんい

ますが、この間まで厚労省は残念ながら遺骨収容は終わりましたと言っていました。あと130万体的方がいます。戦艦大和と一緒に深い所に沈んでいて回収できないという形は仕方ありませんが、70万体的。あと60万体的いらっしゃいます。インドネシア、フィリピンなどに放り出されています。行けばそこにある。ビルマのジャングルに行けばあります。今日本が豊かになって、開発途上の国に支援をします。日本すごいねと。しかし、いくらお金を支援しても、日本からたくさんお金を貰ったけど、俺んちの裏山を見てくれよ。この間の戦争で亡くなった兵隊さんのお骨がゴロゴロしてるぜというのが現状です。本当の意味で尊敬が集められるのでしょうか。日本のために命を投げ出した人達を1人でも多く日本にお帰り頂く事が、私達の務めだと思っております。そうした国々に放置されているお骨を日本にお連れする事も日本が本当の意味で尊敬される1つの方法であると思っております。そうした意味でも皆様方に訴えていきたいと、また身体が動く限りはこの活動を続けていきたいと思っております。

会員増強ですが、私どもの年度10%の増強をお願いしております。この地域を日本の国をもっと良くするという思いは一人でも多い方が良く決めております。ロータリークラブは世界中で良い事をしようという団体です。一般の人達の中にもそうした思いを持っている方はたくさんいると思っております。そうした人達を発掘して頂いて、ぜひ一緒にいい事をしようという輪に加わって頂くという事で、会員増強をお願いしたいと思っております。ロータリーから外れると、ロータリークラブは何をしているか分からないという事を聞いた事があります。ロータリークラブは、地域がもっと良くなるよという思いで一杯で活動していると思いません。公共イメージをアップする等伝えて、皆様方をお願いしております。そうした意味では私達のやっている事は、皆様方もそうだと思いますが、隠徳と言いますか、自分がやった良い事は言いつらい。ロータリーのやっている良い事を地域に発信して頂きたいと思っております。それこそロータリーに対するイメージがアップすると思っております。ロータリークラブが良い評価が頂けるような発信をして頂きたいと思っております。今年のR I会長がおっしゃっているインスピレーションになろうという事は、ロータリアンとして周りにインスピレーションを与えていける事だと思っております。それこそ会員皆様の自分作りに尽きるかなと思っております。私達はロータリー活動だけをしていればいいわけではありません。皆様方に先祖から伝わった思いをそれぞれの事業、活動を通して地域を良くするという意味で、同じ心がけてやっていると思っております。それをロータリーに関しては、心をひとつにしての活動をお願いしたいと思っております。

また世界大会が6月1日からドイツのハンブルグで開催されます。ハンブルグの地にご参集頂ければと思います。

マイロータリーに登録をというお願いもしております。私達の活動はクラブの中ではロータリーの活動が分かります。地区の活動も分かる

と思います。マイロータリーを開くと世界中の122万人のロータリアンがどんな事を、また35,000と言われているクラブの皆様がどんな事をされているかが分かります。世界中のロータリアン、クラブと分かり合えます。クラブの活動は単独ではいけないと思います。一緒に活動しようという事で登録をお願い致します。

今年の皆野・長瀬の会長さんもみんなのためになる事業を実践しようというお言葉を頂いております。ロータリーをもっと良い事をたくさんメンバーとやっていける団体になりたいと思っております。秩父は憧れの場所です。歴史と伝統のある秩父のようになりたいという話をよくしております。教えを頂きながら、思いを実現させるために私どもにも更なるご指導をお願いしたいと思っております。

現在 2,271 のクラブ数だと聞いております。87,000名の会員数です。世界では122万人、35,600クラブと言われています。日本では減少気味ではありますが、ブラジル、インドでは急激に会員数が増えています。良い事をしようという仲間を増やして会員増強にも結びつけて頂きたいと思っております。

### ニコニコボックス

♪ガバナー茂木正様、秩父RC、皆野・長瀬RCガバナー公式訪問歓迎致します。



小林 一夫・畝 徳治  
新井 通雄・宮前 英雄  
長岡 倉雄・山田 利明  
高田 富康

合計 7,000 円

### 出席率

免除以外の会員	出席免除会員	出席	メイク	出席率
12	0	7	2	75.0%

### 第4グループガバナー補佐



井上 敏夫様  
ちよくちよく秩父に来ております。昨日も市役所の所のホルモン焼屋さんに行きました。少しでも秩父の景気が良くなればいいと思います。IMについてはちょっと変わったIMにしようと思っております。



クラブ奉仕部門委員長  
向井 正義様

秩父さんは 2570 地区で会員数、内容的にも一番安定しているクラブです。ロータリーは単年度で変わります。会長は自分の思いをその年度に花開かせて次に繋げて行きます。単年度で終わる良さと弊害もあります。こういうお話をさせて頂く時には委員会の中に戦略委員会を作って頂いたらどうですかという事をお話します。素晴らしいクラブでも懸案事項があったり問題があったりすると思います。それを何年か掛けてやる事により違ったクラブが出来るのかなと思います。次の世代にこんなクラブにしたい。こんなカラーを残してあげたい。それを今やらないと自然減もありますので、1人辞めたら2人入れるという気持ちでやって頂ければ、次世代へ繋いでいけるのかなと思います。5年後に当地区を 2,000 名の地区にしたいと考えております。数だけではありませんが、数も力です。ぜひご協力頂きたいと思っております。

